

代表質問

のIC化についても、各種乗車券と同時に利便性の向上が図れるため、今後、システム整備や発行手法等の課題整理を進めます。

また、竹の内・番田方面の路線については、平成28年度は運行に必要な道路改良やバス停留所等の整備を行い、29年4月の運行に向けて取り組んでいきます。



▲竹の内・番田方面への運行が予定される市営バス

自民党・蒼政会議員団

子どもたちが いきいきと過ごすまち 時機を逃さぬ都市基盤整備を

竹中 健 田村 規子 ※真鍋宗一郎
※は発言者

小中一貫教育の取り組み 小中連携も

議員 小中一貫教育の今後の取り組みや小学校同士の連携である小中連携をどう進めていくのか伺います。

市長 小学校と中学校における指導方法や生活習慣の違い、各小学校でそれぞれが創り上げてきた文化を大切にしつつ、中学校区で一貫性のある教育を実現させ、新たな学校文化の創造



▲全市立小、中学校にて小中一貫教育を開始

に取り組んでいます。また、小、中学校の教職員による研究会や、児童生徒が互いの行事に参加するなど、各校区の一貫性を高める創意工夫のある取り組みを進めていきます。

放課後の子どもの居場所 小学校の校庭開放は

議員 小学校では放課後の校庭利用ができず、子どもが安心して自由に遊べる場がないことが、体力低下を招く一因になっています。

体力向上や、自ら考え育つ「子育て力」を育むためには、校庭開放が効果的と考えますが、見解を伺います。

市長 小学校の放課後の校庭開放は、児童の自発的な参加・活動が基本となるため、参加者の把握や安全確保等に課題があり、校庭開放時の子どもの見守りや

帰宅時の安全確保の方策を含め、引き続き研究します。

ホテル等の誘致 今後のまちづくりと あわせた検討を

議員 今議会で提案されているホテル等の誘致に係る条例を生かしていくには、JR高槻駅南側の再々開発など、今後のまちづくりとあわせた検討をすべきですが、見解を伺います。

市長 誘致活動では商工会議所等と連携の下、積極

的に取り組みます。また、JR高槻駅南側の再開発ビルは、老朽化等の課題に対し、各管理組合等が今後の在り方を検討されているため、本条例を契機に、本市の玄関口にふさわしい魅力的な施設となるよう、区分所有者主体の取り組みを注視しながら、適切に働きかけていきます。

これからの富田地区 魅力あるまちづくりを

議員 JR京都線の芥川より西側の鉄道高架化などを研究されますが、これからの富田地区の魅力あるまちづくりをどのように考えているのかお聞きします。

市長 JR摂津富田駅北側では大規模な工場の土地利用転換が見込まれているため、JR京都線の高架化は、まちの飛躍の契機になると考えています。富田の更なる発展に向け、民間事業の動向にも注視しつつ、時機を逃さず都市基盤整備の促進に取り組みます。